

**(3) 授業の質的改善のプロセス****イ B校の実践（第3学年）****(ア) 6月の実践****a 生徒の実態把握（手順①）と教師の指導や単元構想についての振り返り及び改善策の検討（手順②）**

日々の授業を「主体的・対話的で深い学び」の視点から質的に改善をするために、B校の第3学年の生徒の実態を把握する必要がありましたので、6月に「意識調査」（授業の見直しと質的改善を図るための手立て - 3の表1）を行いました。

- ・「社会の勉強は好きだ」と、57%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業の内容はよく分かる」と、72%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」と、94%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思う」と、63%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で扱うノートやワークシートには、本時の学習のめあてを書いていると思う」と、97%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、単元全体を通した学習課題を意識して学習していると思う」と、97%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、先生と共に単元全体を通した学習課題をつくっていると思う」と、94%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分が調べたり、考えたりすることをはっきり分かって学習していると思う」と、94%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、本時の学習のめあてや単元全体を通した学習課題について、予想や仮説を立てていると思う」と、85%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、調べる活動をよく行っていると思う」と、88%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、調べたことを、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思う」と、91%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、自分が調べて分かったことや考えたことをもとに話し合っている（討論している）と思う」と、88%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業では、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と、91%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、調べて分かったことや考えたことを自分でまとめ、ノートやワークシートなどに書いている」と、97%の生徒が回答しました。
- ・「社会の授業で、学習を振り返る活動を行っていると思う」と、90%の生徒が回答しました。



意識調査の結果から、94%の生徒が、社会科は「発表する機会が与えられている教科」として、捉えていることが分かりました。また、発表する場面については、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と91%が感じていました。しかし、「自分の考えを他人に説明したり、文章を書いたりすること」については、難しく捉えている生徒が63%を占めていました。このことは、社会科の勉強を苦手と感じている生徒が約43%いることに関わっていると考えられます。

さらに、「授業内容はよく分かる」と思っている生徒が72%を占めているのも調査から明らかになりました。しかし、これは、学習内容を理解している生徒と理解したつもりになっている生徒がおり、後者の場合は、学習内容の理解が不十分なことから言語活動で自分の考えをうまく表現することができていないのではないかと考えられます。

以上のことから、話し合う活動によって自分の考えが深まるということを感じている生徒が多いものの、話し合う活動を行う前の段階である自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることに課題が見られました。

日々の授業や生徒のワークシートやノートへの記述、「意識調査」で把握した生徒の実態を踏まえながら「授業づくりのチェックリスト」を用いて、教師自身が自らの授業を振り返りました（資料 1）。まずは、資料 1〔課題追究〕の項目の「調べる時間を設定している」、資料 1〔課題解決〕の項目の「まとめの時間を設定している」、「学習を振り返らせる時間を設定している」、「次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている」ことについて、「教師の手立て表」から必要と思われる手立てを検討しました（次頁資料 2）。

課題把握	☑	手立て (A)	課題追究	☑	手立て (B)	課題解決 新たな課題	☑	手立て (C)
本時のめあてを設定している	✓	A①	調べる時間を設定している	✓	B①	まとめの時間を設定している	✓	C①
単元全体を通した（貫く）学習課題を設定している	✓	A②	調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している	✓	B②③	学習課題について、ノートやワークシートなどにまとめることができるようにしている	✓	C②③
生徒と共に単元全体を通した（貫く）学習課題を設定している		A③	複数の資料を基に、多面的・多角的に調べて考えることができるようにしている	✓	B④	学習を振り返らせる時間を設定している		C④
単元の見通しをもつことができるようにしている	✓	A④	自分と他の生徒の考えを比較しながら、話し合うことができるようにしている	✓	B⑤	結論について、他の生徒と話し合わせ、考えることができるようにしている		C⑤⑥
予想や仮説を立てることができるようにしている		A⑤	複数の立場や意見を踏まえ、解決に向けて選択・判断することができるようにしている	✓	B⑥	次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている		C⑦

資料 1 教師の自己評価（6月）

## b 教師の改善策の策定（手順③）

資料 1〔課題追究〕の項目の「調べる時間を設定している」ことについては、次頁資料 2 B①の「学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する」の手立てを取り入れることにしました。資料 1〔課題解決〕の項目の「まとめの時間を設定している」ことについては、次頁資料 2 C①の「問い返しをしながら授業のまとめをする場を設定する」の手立てを、「学習を振り返らせる時間を設定している」ことについては、次頁資料 2 C④の「学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返ることができるようにする」の手立てを、「次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている」ことについては、次頁資料 2 C⑦の「自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげることができるようにする」の手立てを取り入れることにしました。

	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を設定する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的現象等を知る</li> <li>・気付きや疑問を出し合う</li> <li>・課題意識を醸成する</li> <li>・学習課題を設定する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決の見通しをもつ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想や仮説を立てる</li> <li>・学習計画を立てる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予想や仮説の検証に向けて調べる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の資料を活用して調べる</li> <li>・他の生徒と情報を交換する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的・多角的に考察する</li> <li>・話し合う（討論等）</li> </ul> </li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考察したことや構想したことをまとめる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を振り返って結論をまとめる</li> <li>・結論について、他の生徒と話し合う</li> <li>・学習課題についてレポートなどにまとめる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を振り返って考察する                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る</li> <li>・学習成果を学校外の他者に伝える</li> <li>・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする</li> </ul> </li> </ul>
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時のめあてを設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いをもたせ、単元全体を通した（貫く）学習課題を設定する</p> <p>A③ テレビのニュースや新聞等を活用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しをもたせ、ゴールをイメージできるようにする</p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージできるようにする</p>	<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話し合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から調べて考えることができるようにする</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモしながら話し合うことができるようにする</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、解決に向けて選択・判断することができるようにする</p>	<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする場を設定する</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめることができるようにする</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示し、ノートやワークシートにまとめることができるようにする</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返ることができるようにする</p> <p>C⑤ 結論について、グループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめることができるようにする</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えることができるようにする</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげることができるようにする</p>			

資料 2 取り入れる手立て（6月）

資料 2 から選択した手立てを以下のように、単元の学習内容に併せて取り入れました。

<p>6月に採った意識調査の結果や授業の様子などを踏まえた生徒の実態を基に選択した教師の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、個人で調べる時間を設定する。【B①】</li> <li>・学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定する。【C①】</li> <li>・学習内容の振り返りの時間を設定し、演習問題に取り組みせることで学習内容の定着を図る。【C④】</li> <li>・映像を視聴して、学習内容を振り返り、現代の社会問題につなげることができるように促す。【C⑦】</li> </ul>
--

c [6月の実践] 教師の手立てを取り入れた授業実践（手順④）

単元名「私たちの生きる現代社会について考えよう」（帝国書院 pp. 2 - 11）

単元の指導の実際		・・・質的改善を図った手立て	
過程	主な学習活動	教師の働き掛け（○）、手立て（◆）	時配
つかむ	○30年前と現在のまちのイラストを比べ、新しく登場したものや大きく変化したものを確認しながら、単元を貫く学習課題を設定する。	○変化したところが確認できるように、電子黒板にイラストを提示した。 ○問い返しながら変化したところに着目させ、単元を貫く学習課題を設定できるように促した。	1
[単元を貫く学習課題] 少子高齢化は、私たちの生活にどんな影響をもたらすのだろう			
調べる	○私たちの生きる現代社会について、教科書や資料集を使って調べる。	◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、個人で調べる時間を設定した。【B①】	3

	<p>○私たちの生きる現代社会について学習した内容を教科書や資料集を使って調べる。</p> <p>○調べた内容を全体に発表する。</p> <p>○資料からの読み取り練習を行い、学んだ語句を使って演習問題に取り組む。</p>	<p>◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、個人で調べる時間を設定した。【B①】</p> <p>○発表する場を設定し、全体で確認を行った。</p> <p>○学習内容のポイントを確認した。</p>	
<p>考え ・ ま と め る</p>	<p>○電子黒板で映像資料を見て、日本の少子高齢化の問題点について、既習事項を振り返り、少子化対策と高齢化対策について考える。</p>	<p>◆学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定した。【C①】</p> <p>◆学習内容の振り返りの時間を設定し、演習問題に取り組ませることで学習内容の定着を図った。【C④】</p> <p>◆映像を視聴して、学習内容を振り返り、現代の社会問題につなげることができるように促した。【C⑦】</p>	<p>1</p>

**成果と課題**

<p><b>【成果】</b></p> <p>○調べる時間を設定したことにより、生徒のもつ「資料から読み取る力」を授業者が確認することができました。</p> <p>○まとめの時間を設定したことにより学習内容の重要ポイントを再確認することができました。</p> <p>○問題演習を行うことにより、学習内容の定着度を客観的に知ることができました。</p> <p>○映像を視聴させたことで、学習内容と現実社会を照らし合わせて振り返ることができました。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>●重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定したことで、全体の場で発表する生徒が増えました。ただ、自分の考えを相手に伝えることに苦手意識をもっている生徒も見受けられますので、グループ学習の前提となる支持的風土づくりから取り組んでいく必要があります。</p> <p>●単元を貫く学習課題を解決するために、見通しをもって学習課題に取り組むことができていない生徒も見受けられましたので、予想や仮説を立ててゴールをイメージさせる必要があります。</p> <p>●手立てを取り入れるために、単元全体の時間配分を工夫して授業を展開する必要があります。</p>
--

(イ) 7月の実践

a **生徒の実態把握（手順①）と教師の指導や単元構想についての振り返り及び改善策の検討（手順②）**

6月の実践の成果と課題を振り返って、6月の生徒の実態を踏まえながら「チェックリスト」を用いて、教師自身が自らの授業を振り返りました（資料3）。6月の実践で成果のあった教師の手立てを継続して取り入れ、新たに資料3〔課題把握〕の項目の「予想や仮説を立てることができるようにしている」、資料3〔課題解決〕の項目の「結論について、他の生徒と話し合わせ、考えることができるようにしている」ことについて、「教師の手立て表」から必要と思われる手立てを検討しました（次頁資料4）。

課題把握	☑	手立て (A)	課題追究	☑	手立て (B)	課題解決 新たな課題	☑	手立て (C)
本時のめあてを設定している	✓	A①	調べる時間を設定している	✓	B①	まとめの時間を設定している	✓	C①
単元全体を通した（貫く）学習課題を設定している	✓	A②	調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している	✓	B②③	学習課題について、ノートやワークシートなどにまとめることができるようにしている	✓	C②③
生徒と共に単元全体を通した（貫く）学習課題を設定している	✓	A③-1 A③-2	複数の資料を基に、多面的・多角的に調べて考えることができるようにしている	✓	B④	学習を振り返らせる時間を設定している	✓	C④
単元の見直しをもつことができるようにしている	✓	A④	自分と他の生徒の考えを比較しながら、話し合うことができるようにしている	✓	B⑤	結論について、他の生徒と話し合わせ、考えることができるようにしている	✓	C⑤⑥
予想や仮説を立てることができるようにしている	✓	A⑤	複数の立場や意見を踏まえ、解決に向けて選択・判断することができるようにしている	✓	B⑥	次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている	✓	C⑦

資料3 教師の自己評価（7月）

b-1 **教師の改善策の策定（手順③）**

資料3〔課題把握〕の項目の「予想や仮説を立てることができるようにしている」ことについては、次頁資料4 A⑤の「学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージできるようにする」の手立てを取り入れることにしました。資料3〔課題解決〕の項目の「結論について、他の生徒と話し合わせ、考えることができるようにしている」ことについては、次頁資料4 C⑥の「問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えることができるようにする」の手立てを取り入れることにしました。

	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を設定する</li> <li>・社会的現象等を知る</li> <li>・気付きや疑問を出し合う</li> <li>・課題意識を醸成する</li> <li>・学習課題を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決の見通しをもつ</li> <li>・予想や仮説を立てる</li> <li>・学習計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予想や仮説の検証に向けて調べる</li> <li>・様々な種類の資料を活用して調べる</li> <li>・他の生徒と情報を交換する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する</li> <li>・多面的・多角的に考察する</li> <li>・話し合う（討論等）</li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する</li> <li>・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考察したことや構想したことをまとめる</li> <li>・学習課題を振り返って結論をまとめる</li> <li>・結論について、他の生徒と話し合う</li> <li>・学習課題についてレポートなどにまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を振り返って考察する</li> <li>・自分の調べ方や学び方、結果を振り返る</li> <li>・学習成果を学校外の他者に伝える</li> <li>・新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする</li> </ul>
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時のめあてを設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いをもたせ、単元全体を通した(貫く)学習課題を設定する</p> <p>A③-1 テレビのニュースや新聞等を活用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A③-2 資料や動画を活用し、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見通しをもたせ、ゴールをイメージできるようにする</p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージできるようにする</p>	<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話し合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から調べて考えることができるようにする</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモしながら話し合うことができるようにする</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、解決に向けて選択・判断することができるようにする</p>	<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする場を設定する</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめることができるようにする</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示し、ノートやワークシートにまとめることができるようにする</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返ることができるようにする</p> <p>C⑤ 結論について、グループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめることができるようにする</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えることができるようにする</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげることができるようにする</p>			

資料 4 取り入れる手立て (7月)

資料 4 から選択した手立てと、6月に実践して成果のあった手立て (B①、C①、C④) を継続して以下のように取り入れました (b-2、b-3 も同様)。

<p>6月の実践の課題を受けての教師の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く学習課題のゴールをイメージできるように、生徒が挙げた例を基に予想を立てさせる。【A⑤】</li> <li>・あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定する。【B①】</li> <li>・学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定する。【C①】</li> <li>・自分たちの生活とつなげて考えることができるように、問い返しをしながら学習内容を振り返らせ、単元を貫く学習課題について、グループ内で意見交換するように促す。【C④⑥】</li> </ul>
--

c-1 [7月の実践] 教師の手立てを取り入れた授業実践 (手順④)

<p>単元名 「私たちの生活と文化について考えよう。」(帝国書院 pp.12-17)</p>			
<p>単元の指導の計画</p>		<p>・・・質的改善を図った手立て</p>	
過程	<p>主な学習活動</p>	<p>教師の働き掛け (○)、手立て (◆)</p>	<p>時配</p>
つかむ	<p>○身近な生活に関わる文化について、具体的な例を挙げ、科学、芸術、宗教のどの分野に当てはまるか分類する中で、単元を貫く学習課題を設定する。</p>	<p>○生徒に具体的な例を挙げさせ、問い返しをしながら、単元を貫く学習課題を設定できるように促した。</p>	<p>1</p>
	<p>【単元を貫く学習課題】文化が私たちの生活とどのように結び付いているのだろう</p>		

	○単元を貫く学習課題を解決するための見通しをもつ。	◆単元を貫く学習課題のゴールをイメージできるように、生徒が挙げた例を基に予想を立てさせた。【A⑤】	
調 べ る	○私たちの生活と文化について、教科書や資料集を使って調べる。  ○海外に展開するファストフード店の写真を電子黒板で確認し、マスコットがどうして手を合わせているのか予想を立てて考え、他の生徒と意見交換を行う。	◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定した。【B①】  ・学習内容を確認できるように、地理的分野で学習した宗教に触れながら補足説明を行った。	1
考 え ・ ま と め る	○日本の伝統文化について、思い付くものを発表する。  ○伝統文化の組み合わせによって生まれた現代文化について振り返り、単元を貫く学習課題について考える。	○外国由来の文化を取り込んだものを併せて紹介した。  例) ・鳥獣戯画+歌舞伎など=漫画 ・寿司+アメリカ文化=カリフォルニアロール ・日本語の詩+西洋音楽=日本歌曲  ◆学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定した。【C①】  ◆自分たちの生活とつなげて考えることができるように、問い返しをしながら学習内容を振り返らせ、単元を貫く学習課題について、グループ内で意見交換するように促した。【C④⑥】	1

b-2 教師の改善策の策定（手順③）

<p>6、7月の実践の課題を受けての教師の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く学習課題のゴールをイメージできるように、例を挙げて予想を立てさせる。【A⑤】</li> <li>・あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定する。【B①】</li> <li>・学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定する。</li> <li>・学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定する。【C①】</li> <li>・自分たちの生活とつなげて考えることができるように、問い返しをしながら学習内容を振り返らせ、単元を貫く学習課題について、グループ内で意見交換するように促す。【C④⑥】</li> </ul>
---

c-2 [7月の実践] 教師の手立てを取り入れた授業実践 (手順④)

単元名 「現代社会の見方・考え方について考えよう。」(帝国書院 pp.18 - 28)

単元の指導の実際		・・・質的改善を図った手立て	
過程	主な学習活動	教師の働き掛け (○)、手立て (◆)	時配
つかむ	<p>○アニメ「ちびまる子ちゃん」と「ドラえもん」の画像を見て、それぞれの家族形態の違いを発表する。</p> <p>○「サザエさん」と「クレヨンしんちゃん」の家族は、どちらにあてはまるか考える中で、単元を貫く学習課題を設定する。</p>	<p>○著名なアニメによって生徒たちに学習内容を身近なものに感じさせるとともに、現実の家族形態を意識させた。</p> <p>○単元を貫く学習課題が設定できるように、資料や写真を提示して、家族の在り方に対する関心を高めた。</p>	1
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>〔単元を貫く学習課題〕 現代社会の見方や考え方を知ろう</b> </div>		
調べる	<p>○家族と地域社会について、教科書や資料集を使って調べる。</p> <p>○対立と合意、効率と公正について、教科書や資料集を使って調べる。</p>	<p>◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定した。 <b>【B①】</b></p> <p>◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定した。 <b>【B①】</b></p>	2
	<p>○単元を貫く学習課題について、効率と公正の視点を生かしてグループで学習したことを振り返りながら考え、効率と公正の面から考える。</p>	<p>◆学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定した。 <b>【C①】</b></p> <p>◆自分たちの生活とつなげて考えることができるように、問い返しをしながら学習内容を振り返らせ、単元を貫く学習課題について、グループ内で意見交換するように促した。 <b>【C④⑥】</b></p>	

b-3 教師の改善策の策定（手順③）

7月の実践の課題を受けての教師の手立て

- ・単元を貫く学習課題のゴールをイメージできるように、一問一答のクイズ形式で予想を立てさせ、問いに対する関心を高める。【A⑤】
- ・あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定する。【B①】
- ・学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらかつまとめる時間を設定する。【C①】
- ・自分たちの生活とつなげて考えることができるように、問い返しをしながら学習内容を振り返らせ、単元を貫く学習課題について、グループ内で意見交換するように促した。【C④⑥】

c-3 [9月の実践] 教師の手立てを取り入れた授業実践（手順④）

単元名 「民主主義と日本国憲法について考えよう」（帝国書院 pp. 32 - 41）

単元の指導の実際		・・・質的改善を図った手立て	
過程	主な学習活動	教師の働き掛け（○）、手立て（◆）	時配
つかむ	○学校の特別教室は、いつ設置されたかについてワークシートに個人で予想を立てて、グループで確認し合う。	○憲法の学習を始める前に、戦前の日本では、学校がどのように扱われていたか考えさせた。	1
	○学校の宿直は、本来何の目的で行われていたかグループで考える中で、単元を貫く学習課題を設定する。	○話合いがスムーズに進むように宿直の意味を分かりやすく伝えた。	
<b>【単元を貫く学習課題】 憲法が目指したものは、何だろうか</b>			
調べる	○単元を貫く学習課題を解決するための見通しをもつ。	◆単元を貫く学習課題のゴールをイメージできるように、一問一答のクイズ形式で予想を立てさせ、問いに対する関心を高めた。【A⑤】	3
	○人権獲得の歴史について、教科書や資料集を使って調べる。 ○憲法と国民主権について学習した内容を教科書や資料集を使って調べる。	◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定した。【B①】 ○大日本帝国憲法と日本国憲法の比較、国民主権と憲法改正の手順について、問い返しをしながら、学習内容の重要ポイントを確認した。 ◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定した。【B①】	

	<p>○平和主義と自衛隊の在り方について、教科書や資料集を使って調べる。</p> <p>○少女Aの替え歌を聞き、歌詞の空欄に当てはまる語句を予想する。</p>	<p>◆あらかじめ、ワークシートに重要語句をまとめておき、調べる時間を設定した。 <b>【B①】</b></p> <p>○憲法9条の条文と日本政府の考えをまとめた後、少女Aの替え歌で流行り歌に込められた意味や外国からの認識について確認した。</p>	
<p>考 え ・ ま と め る</p>	<p>○「自衛隊が違憲か、それとも合憲か」について考え、黒板に示してあるスケールチャートにマグネットで自分の位置を示す。</p> <p>○本単元での学習を振り返り、単元を貫く学習課題について考える。</p>	<p>○歌を再度聞かせ、資料を基に自衛隊と憲法に対する自分の考えを示すように促した。</p> <p>◆学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定した。 <b>【C①】</b></p> <p>◆自分たちの生活とつなげて考えることができるように、問い返しをしながら学習内容を振り返らせ、単元を貫く学習課題について、グループ内で意見交換するように促した。 <b>【C④⑥】</b></p>	<p>1</p>

**成果と課題**

**【成果】**

- 学習内容に関わるようなクイズを設けて生徒に興味をもたせ、自分の考えや予想を立てやすくしたことで、授業で発言の少なかった生徒も発言できるようになりました。
- 具体例を挙げて予想や仮説を書きやすい内容にしたことで、グループでの意見交換も活発になりました。
- 生徒中心の活動を多くしたことで、学習内容をまとめた上で自分の考えを記したり、伝えたりする活動にも少しずつ活気が見られるようになってきました。

**【課題】**

- 単元によっては、単元を貫く学習課題より本時の授業だけで終わる本時の学習課題に偏ってしまった部分があったので、双方が両立するような学習計画を立てていきたいです。
- 次時や次の単元につながる問いを見いだすことができなかつたので、現代の社会問題につながる問いを考えていく必要があります。

(ウ) 9、10月の実践

a **生徒の実態把握（手順①）と教師の指導や単元構想についての振り返り及び改善策の検討（手順②）**

7月の実践の成果と課題を振り返って、7月の生徒の実態を踏まえながら「チェックリスト」を用いて、教師自身が自らの授業を振り返りました（資料5）。7月の実践で成果のあった教師の手立てを継続して取り入れ、新たに資料5〔課題追究〕の項目の「調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している」、資料5〔課題解決〕の項目の「次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている」ことについて、「教師の手立て表」から必要と思われる手立てを検討しました（次頁資料6）。

課題把握	☑	手立て (A)	課題追究	☑	手立て (B)	課題解決 新たな課題	☑	手立て (C)
本時のめあてを設定している	✓	A①	調べる時間を設定している	✓	B①	まとめの時間を設定している	✓	C①
単元全体を通した（貫く）学習課題を設定している	✓	A②	調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している	✓	B②③	学習課題について、ノートやワークシートなどにまとめることができるようにしている	✓	C②③
生徒と共に単元全体を通した（貫く）学習課題を設定している	✓	A③-1 A③-2	複数の資料を基に、多面的・多角的に調べて考えることができるようにしている	✓	B④	学習を振り返らせる時間を設定している	✓	C④
単元の見通しをもつことができるようにしている	✓	A④	自分と他の生徒の考えを比較しながら、話し合うことができるようにしている	✓	B⑤	結論について、他の生徒と話し合わせ、考えることができるようにしている	✓	C⑤⑥
予想や仮説を立てることができるようにしている	✓	A⑤	複数の立場や意見を踏まえ、解決に向けて選択・判断することができるようにしている	✓	B⑥	次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている	✓	C⑦

資料5 教師の自己評価（9月）

b-1 **教師の改善策の策定（手順③）**

資料5〔課題追究〕の項目の「調べたことを、ペアやグループで話し合わせる時間を設定している」ことについては、次頁資料6のB②の「ペアやグループで協働して調べる場を設定する」の手立てを取り入れることにしました。資料5〔課題解決〕の項目の「次時や次の単元につながる新たな問い（課題）を見いだすことができるようにしている」ことについては、次頁資料6のC⑦の「自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげることができるようにする」の手立てを取り入れることにしました。

	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
主な学習過程の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習課題を設定する</li> <li>●社会的事象等を知る</li> <li>●気付きや疑問を出し合う</li> <li>●課題意識を醸成する</li> <li>●学習課題を設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決の見直しをもつ</li> <li>●予想や仮説を立てる</li> <li>●学習計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予想や仮説の検証に向けて調べる</li> <li>●様々な種類の資料を活用して調べる</li> <li>●他の生徒と情報を交換する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する</li> <li>●多面的・多角的に考察する</li> <li>●話し合う(討論等)</li> <li>●社会に見られる課題を把握して解決に向けて構想する</li> <li>●複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考察したことや構想したことをまとめる</li> <li>●学習課題を振り返って結論をまとめる</li> <li>●結論について、他の生徒と話し合う</li> <li>●学習課題についてレポートなどにまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習を振り返って考察する</li> <li>●自分の調べ方や学び方、結果を振り返る</li> <li>●学習成果を学校外の他者に伝える</li> <li>●新たな問い(課題)を見いだしたり追究したりする</li> </ul>
教師の手立ての例	<p>A① 既習事項や前時までのつながりを意識させて本時のめあてを設定する</p> <p>A② 資料や写真を提示して問いをもたせ、単元全体を通した(貫く)学習課題を設定する</p> <p>A③-1 テレビのニュースや新聞等を活用して身近な例を挙げ、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A③-2 資料や動画を活用し、問い返しをしながら学習課題を設定する</p> <p>A④ 学習課題の解決に向けて、電子黒板やワークシート等を活用しながら見直しをもたせ、ゴールをイメージできるようにする</p> <p>A⑤ 学習課題について予想や仮説を立てさせ、ゴールをイメージできるようにする</p>		<p>B① 学習課題を確認し、個人で調べる場を設定する</p> <p>B② ペアやグループで協働して調べる場を設定する</p> <p>B③ 役割分担(司会、発表者等)を行い、話合いの視点を与える</p> <p>B④ 個人で考える場を設定して、複数の資料を基に様々な側面、角度から調べて考えることができるようにする</p> <p>B⑤ グループで、それぞれの考えとその根拠をメモしながら話し合うことができるようにする</p> <p>B⑥ グループで、それぞれの考えとその根拠を交換し合う中で、解決に向けて選択・判断することができるようにする</p>		<p>C① 問い返しをしながら授業のまとめをする場を設定する</p> <p>C② ワークシートに合わせた書き方やキーワードを示してまとめることができるようにする</p> <p>C③ 自分の考えの根拠となる資料を示し、ノートやワークシートにまとめることができるようにする</p> <p>C④ 学習課題を振り返らせる時間を設定し、学習内容を振り返ることができるようにする</p> <p>C⑤ 結論について、グループで話し合わせたことを基に、レポートなどにまとめることができるようにする</p> <p>C⑥ 問い返しをしながら、学習したことを自分たちの生活とつなげて考えることができるようにする</p> <p>C⑦ 自分の調べ方や学び方、結果を振り返る場を設定し、新聞記事や時事問題等を取り上げ、現代の社会問題につなげることができるようにする</p>	

資料6 取り入れる手立て(9、10月)

資料6から選択した手立てと、7月に実践して成果のあった手立て(C①、C④)を継続して以下のように取り入れました。

<p>7月の実践の課題を受けての教師の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●調べるのが苦手な生徒も活動できるように、確認し合いながらグループで調べ学習を行うように促す。<b>【B②】</b></li> <li>●憲法の重要な条文を理解できるように、ペアで協力するように促す。<b>【B②】</b></li> <li>●学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらかまとめの時間を設定する。<b>【C①】</b></li> <li>●単元を貫く学習課題について振り返り、現代の社会問題につなげることができるように促す。<b>【C④⑦】</b></li> </ul>
---

c-1 [9月の実践] 教師の手立てを取り入れた授業実践(手順④)

単元名 「基本的人権について考えよう」(帝国書院 pp. 42 - 59)

単元の指導の実際		・・・質的改善を図った手立て	
過程	主な学習活動	教師の働き掛け(○)、手立て(◆)	時配
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○婚姻届を書き、人権について考える。</li> <li>○人権について考えていく中で、単元を貫く学習課題を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女平等について考えやすくするために婚姻届を書かせる。</li> <li>○単元を貫く学習課題が設定できるように、テレビのニュースや新聞記事などで話題になった芸能人の結婚や結婚に関する資料を活用し、人権への関心を高めた。</li> </ul>	1
<p><b>【単元を貫く学習課題】 私たちの人権は、どのように保障されているのだろう</b></p>			

<p>調 べ る</p>	<p>○基本的な人権について、教科書や資料集を使って調べる。</p> <p>○ペアで、憲法第 14 条①、第 25 条①、第 12 条の条文を暗唱し合う。</p>	<p>◆調べるのが苦手な生徒も活動できるように、確認し合いながらグループで調べ学習を行うように促した。 <b>【B②】</b></p> <p>○重要語句の内容を問い返しながら確認する。</p> <p>◆憲法の重要な条文を理解できるように、ペアで協力するように促した。 <b>【B②】</b></p>	<p>3</p>
<p>考 え ・ ま と め る</p>	<p>○事例について、基本的な人権の視点から考え、自分の考えと異なる考えをもった生徒のところへ移動し、考えを聞く。</p> <p>○自分の考えを振り返り、考えをまとめる。</p>	<p>○二択形式の事例を設定し、ネームプレートで自分の立ち位置を表示させ、意見交換しながらメモを取るよう促した。</p> <p>◆学習内容を確認できるように、重要語句の内容を問い返しながらまとめる時間を設定した。 <b>【C①】</b></p> <p>◆単元を貫く学習課題について振り返り、現代の社会問題につなげることができるように促した。 <b>【C④⑦】</b></p>	<p>1</p>

b-2 教師の改善策の策定（手順③）

<p>9月の実践の課題を受けての教師の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識をもって調べることができるようにグループごとにテーマを与え、裁判について調べるように促す。<b>【B②】</b></li> <li>・事件の概要を整理できるように、それぞれの立場の主張について調べ、ワークシートを使ってまとめるように促す。<b>【B②】</b></li> <li>・学習内容を確認できるように、事件の概要について問い返しをしながら、まとめる時間を設定する。 <b>【C①】</b></li> <li>・単元を貫く学習課題を振り返り、根拠となる資料を基にして自分なりの最終結論を出すように促す。 <b>【C④】</b></li> <li>・現代の社会問題につなげることができるように、県内で発生した刑事事件を紹介し、学習内容との関連について触れる。<b>【C⑦】</b></li> </ul>
--



<p>○「被告人は有罪か無罪か」について、グループで評議し、ホワイトボードにまとめて全体に意見発表する。</p> <p>○最終的な自分の考えをまとめ、ワークシートに記述する。</p>	<p>○結論に至るまでの道筋が複数あることに気付くことができるように、他の生徒の考えを聞くように促した。</p> <p>◆学習内容を確認できるように、事件の概要について問い返しをしながら、まとめる時間を設定した。【c①】</p> <p>◆単元を貫く学習課題を振り返り、根拠となる資料を基にして自分なりの最終結論を出すように促した。【c④】</p> <p>◆現代の社会問題につなげることができるように、県内で発生した刑事事件を紹介し、学習内容との関連について触れた。【c⑦】</p>
---	--

**成果と課題**

<p><b>【成果】</b></p> <p>○婚姻届の例や映像を活用したことで学習内容への関心を高めることができ、単元を貫く学習課題につなげることができました。</p> <p>○時事問題を取り上げたことで、教科書の内容から現代の社会問題へと考えを広げることができました。</p> <p>○裁判に関する新聞記事を使って、個人の学習内容に対する関心を高めたことで、動画「昔話法廷」の判決に対するグループ内での意見交換を活発に行うことができました。</p> <p>○グループごとにテーマを与えて調べ活動を行わせたことで、自分の役割を把握し責任を果たそうとする姿が見られました。その上で、調べたことをグループ内で共有化するために協力して伝え合おうとする場面が見られました。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>●グループ学習で取り組んだワークシートを更に整理し、生徒が分かりやすく取り組めるものにしていく必要があります。</p> <p>●グループ内での話し合い活動で時間が掛かりすぎる場面が見受けられたので、話し合いの目的や方法を明確にしておく必要があります。</p>
--

ここまでは、6月から10月までの授業の質的改善のプロセスを示してきましたが、**授業の見直しと質的改善を図るための手立て-2の図2**を今後も繰り返して授業の質的改善を図っていきます。